

## 連合長崎・連合長崎地協2016年新年交歓会

## 暮らしの底上げ！底支え！ 安心社会を切り拓こう！



連合長崎と連合長崎地協は、共催で1月6日(水) 18時30分から長崎市の「ホテルニュー長崎」において「2016年新年交歓会」を開催しました。当日は、県議、市議、町議、友好団体等の来賓の皆様、構成組織役員に参加者を含め約300人が参集する盛大な新年交歓会となりました。

冒頭、森会長は、「①2016春季生活闘争において、恒常的に必要な月例賃金の引き上げを求め、安心して働き続けられる社会をめざした闘いを展開していくこと、②本年夏に施行される参議院選挙において12名の組織内候補の勝利に向けた取り組みを進めて行くこと、③参議院選挙の長崎県選挙区の候補者は未だ決定していないが、若者や高齢者をはじめ有権者が希望の持てる社会をめざす候補者を早急に決定すること、多くの課題が山積しているが、構成組織の理解を得ながら活動を展開していく」との決意を込めたあいさつをしました。

その後、多くの来賓の中から代表して、渡邊敏勝民主党長崎県連幹事長、吉村庄二社民主党長崎県連合代表、中村法道長崎県知事、田上富久長崎市長、大塚崇史長崎労働局長、鄧偉中国駐長崎総領事からあいさつを受けました。

続いてステージ上で恒例の鏡割り、辻純長退連会長の音頭で乾杯が行われました。その後、「ちんどん かわちや」の「祝い餅つき」が行われるなか、参加者はそれぞれに懇親を深めました。最後に酒井隆長崎地協議長の音頭で連合長崎、連合長崎地協、各構成組織の発展と参議院選挙での必勝を祈念したガンバロー三唱を行い、2016年新年交歓会を終了しました。

連合長崎、連合長崎地協は、2016年も構成組織の皆様と一丸となって各種取り組みを行ってまいります。各構成組織の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 連合長崎2016春季生活闘争討論交流集会を開催 ～「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現!

1月23日(土)、ホテル矢太樓において、約100人の仲間が集まり「2016春季生活闘争討論交流集会」を開催しました。

主催者を代表して連合長崎 森会長のあいさつの後、基調講演I「連合2016春季生活闘争方針提起」として連合本部総合労働局の須田孝総合局長より、基調講演II「ワークルールへの取り組み」として連合本部労働法制対策局の黒田正和局長より、それぞれ提起・報告を受けました。引き続き、連合長崎 佐竹明彦副事務局長(連合長崎中小共闘センター事務局長)より、「連合長崎の2016春季生活闘争の取り組みと2016年地域三二マム運動」について提起をおこないました。

引き続き、2つのグループにわかれ分散会を行い、それぞれの分散会において「2016春季生活闘争方針」「組織強化・拡大」「第24回参議院議員選挙」等の取り組みについて各組織より報告を受け、意見交換を行いました。

集会の最後には、連合長崎中小闘争本部の本部長である石井健次 連合長崎副会長の閉会挨拶の後、同副本部長である鴨川博明 連合長崎副事務局長がガンバロー三唱を行い、「2016春季生活闘争」「第24回参議院議員選挙」の勝利へ向け参加者全員で意思統一をはかるとともに、連合長崎2016春季生活闘争のスタートを切りました。



挨拶をする  
連合長崎 森会長



須田総合局長  
(総合労働局)



黒田局長  
(労働法制対策局)



春闘の提起をする  
佐竹副事務局長



# 「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」 を実現する日出生台集会在開催されました！

2016年1月30日(土)、連合九州ブロック連絡会・連合大分主催による『在日米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本的見直し』を実現する日出生台集会在大分県玖珠郡玖珠町(玖珠川河川敷)で開催され約5,100人が結集、連合長崎からは森会長をはじめ145名が参加しました。

大分県の日出生台演習場では、米軍が沖縄で行っていた県道104号線越えの実弾砲撃演習を本土5ヶ所に移転した1997年以降、米軍による実弾砲撃訓練が行われています。本訓練は、「沖縄と同質・同量」の負担という約束であったにも関わらず、沖縄では実施されていなかった夜間砲撃訓練が実施されるなど、その内容が質・量ともに強化されてきており、「訓練の拡大・恒常化」「基地のばら撒き」となっています。連合九州ブロック連絡会・連合大分は1999年から日出生台集会在を開催し、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地



























位協定の抜本的見直し」を求めています。

集会では、地元実行委員会による「地元の思い」の訴えに続き、主催者を代表して連合九州ブロック高島代表幹事、また連合本部を代表して逢見事務局長が挨拶を行いました。続いて講演として、屋良朝博氏(フリーライター、元沖縄タイムス論説委員)から、「米海兵隊」に視点を置いて、「米は日本を守ってくれるのか?」「基地は沖縄にないといけないのか?」という問題を提起いただきました。

最後に、「基地を抱える地域の重圧を少しでも軽減するために『米軍基地の整理・縮小』、そして1960年に締結されて以来、一度も見直されていない『日米地位協定』の抜本見直しを実現する運動を、引き続き地域や職場において全力で展開していく」とする集会宣言を連合長崎 森会長が読みあげ採択のあと、連合大分佐藤会長の団結ガンパローで集会を閉会しました。



# 2016年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2016年2月4日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長崎地域協議会	 酒井 隆 (基幹労連)	 芳川孝太郎 (電力総連)	 草野いづみ (ユニオン)
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 中川 俊紀 (基幹労連)	 山口 潤 (自治労)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 入江 良美 (交通労連)	 池田多佳子 (ユニオン)
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 田尻 正行 (私鉄総連)	 岩永 利男 (J P労組)	
大東・杵岐・対馬地域協議会	 本村 幸永 (自治労)	 塩入 高志 (ユニオン)	 川本 文子 (ユニオン)
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 赤木 修 (自治労)	 松山 文彦 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 鶴岡幸太郎 (J P労組)	 大塔 克彦 (自治労)	
佐世保地域協議会	 菊永 昌和 (自治労)	 鴨川 博明 (基幹労連)	 本郷 栄子 (ユニオン)
佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議	 吉元 修二 (電力総連)	 山口 哲広 (自治労)	
五島地域協議会	 谷川 隆 (自治労)	 高井良芳行 (ユニオン)	 大島 鶴恵 (ユニオン)
五島地域協議会 上五島ブロック連絡会議	 鉄川 信隆 (J P労組)	 松岡 貢 (自治労)	

今年から地協のニュースも連合長崎のホームページに掲載をしています。  
ぜひ、各地協の活動に注目ください！

連合速報へのご意見・ご感想はこちらまで → [r-masumoto@nagasaki.jtuc-rengo.jp](mailto:r-masumoto@nagasaki.jtuc-rengo.jp)